

放医研キッズワークショップ 2009 のお知らせ

「こどもの放射線被ばくを考える」

近年、胎児やこどもへの医療被ばくに対する社会的な関心が高まってきました。例えば、CT検査の場合、診断によるベネフィットは大きいとはいえ、回数が多くなると疫学的にも発がんの増加が観察される線量に達することもあります。そこで、この度、「放射線とこどもの健康」に焦点を当て、疫学調査や動物を用いた研究の最新のデータ、医療被曝の現状などについて紹介し、こどもへの影響評価や、今後の医療被ばくのあり方について考えるきっかけを提供したいと思います。

また、このシンポジウムは、IAEAとWHOと協賛で行われます。我が国からこの分野においても国際的な発信する機会にしたいと思います。

日 時：平成 21 年 12 月 15 日（火）～17 日（木） 9：00～17：00

会 場：放射線医学総合研究所 大会議室（千葉市稲毛区）

参加費：無料

問 合 先：（独）放射線医学総合研究所 企画部 人材育成・交流課

E-mail：kidsws2009@nirs.go.jp TEL：043-206-3024（直通）

● IAEA・放医研ジョイントワークショップ

「低線量放射線影響と医療被ばく」

Chhem R (IAEA) / 村田貴司 (放医研) / Hendry J (IAEA) / 今井高志 (放医研) / 酒井一夫 (放医研) / 鎌田正 (放医研)

●放医研・放射線防護研究センターシンポジウム

「こどもの放射線防護」

久住静代 (原子力安全委) / Shore R (放影研) / 山下俊一 (長崎大) / Wakeford R (Manchester 大) / 中村典 (放影研) / 佐々木俊作 (放医研) / 高畠貴志 (放医研) / 今岡達彦 (放医研) / 柿沼志津子 (放医研) / Anderson LM (NCI) / 山田裕 (放医研) / 森千里 (千葉大) / 米倉義晴 (放医研) / Rajaraman P (NCI) / 石田也寸志 (聖路加病院) / 児玉和紀 (放影研) / 甲斐倫明 (大分看護大) / 辻井博彦 (放医研) / Perez M (WHO) / Streffer C (Duisburg-Essen 大) / 樋野興夫

(順天堂大)

●WHOグローバルイニシアティブ会議

「小児健康における安全な放射線利用に向けて」

Perez M (WHO) / 山下俊一(長崎大) / Streffer C(Duisburg-Essen 大) / Kim KP(Korea) / Kesminiene A (IARC) / Lau L. (IRQN) / 宮壽治(成育医療セ) / 赤羽恵一(放医研) / 土居主尚(放医研) / 島田義也(放医研) / 山口一郎(保健医療科学院) / 藤本純一郎(成育医療セ) / 清哲朗(厚労省) / Wakeford R (Manchester 大) / Cowling C (ISRRT) / Sun Q (NIRP)